

# こども未来部 保育園・幼稚園・こども園

## 第1 監査の概要

- 1 監査の種類 定期監査（財務監査及び行政監査）
- 2 監査の対象  
監査対象部局 こども未来部 保育園・幼稚園・こども園  
対象年度 令和3年度  
監査対象事項 財務事務等
- 3 監査等の実施場所及び監査期間  
実施場所 各保育園・幼稚園・こども園  
監査期間 令和4年11月1日、令和4年11月2日

### 4 監査の主な実施内容

四日市市監査基準に基づき、監査対象部局への聞き取り調査や過去の監査結果を踏まえて、事務事業に内在するリスクを想定し、リスク発生の可能性や発現時の影響度の観点からリスク評価を行うとともに、財務事務や経営に係る事務の管理が法令等に適合し、正確で、最少の経費で最大の効果を挙げているか、その組織及び運営の合理化に努めているかなどについて、関係帳簿・書類の抽出調査、実査及び監査資料に基づく関係職員への質問等の方法により監査を行った。

## 第2 監査対象の概要

- ・市立保育園19園のうち、次の5園の監査を行った。  
笹川保育園、内部保育園、笹川西保育園、あがた保育園、四郷保育園  
(あがた保育園、四郷保育園は書面監査のみ)
- ・市立幼稚園16園のうち、次の3園の監査を行った。  
川島幼稚園、内部幼稚園、笹川中央幼稚園  
(笹川中央幼稚園は書面監査のみ)
- ・市立こども園5園のうち、次の1園の監査を行った。  
橋北こども園

## 第3 監査の着眼点

- 1 想定されるリスクからの着眼点  
事務事業におけるリスクについて事前調査でのリスク評価や聞き取りにより設定した。

### 【保育園・幼稚園・こども園共通事項】

- (1) リスク評価チェックリストの検証
- (2) 出先機関のリスク
- (3) 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク
- (4) 施設の補修がすみやかに行われないリスク

(5) 多様化する課題に対する保護者支援が不十分となるリスク

(6) 経験年数の少ない職員が不安を抱え込むリスク

【保育園・こども園共通事項】

(7) 複雑な雇用形態の中での情報共有阻害のリスク

2 3 E (経済性、効率性、有効性)・合規性等の視点からの着眼点

事務事業の合規性や正確性のみならず、経済性、効率性、有効性の視点等から設定した。

#### 第4 監査結果

上記の着眼点に基づき監査を行った結果、次のとおり、内在するリスクや事務の一部に是正又は改善を要するものなどが見受けられた。今後の事務執行にあたっては、これらに十分留意するとともに、その措置を講じるよう要望する。

なお、措置を講じたときは、遅滞なく報告されたい。

#### 1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

【保育園・幼稚園・こども園共通事項】

##### (1) リスク評価チェックリストの検証

リスク評価調査においてはリスクは低かったが、事前調査の結果、財務会計事務、文書事務について、一部事務処理誤りが見受けられた。

リスク評価チェックリストの該当項目

(評点が4点以上又はリスクの発現が見られたもの：発現していた場合 ○)

チェック項目		想定されるリスク	評点	発現
所属の主要な事務事業	事業を行っているか	評価・見直しが行われず、効果のある事業が実施されないリスク	4/4	
収入事務	地方税、分担金、使用料、手数料等を徴収する業務を行っているか	法令等に基づいた金額を徴収していないリスク 減免の制度又は運用が適切でないリスク 収入未済となるリスク 収入未済が適正に処理されないリスク	4/12 ※	
現金管理	現金や金券(切手・収入印紙・駐車券等)の取扱いがあるか	現金・金券の紛失、数え間違い、処理遅れ、着服等のリスク	4/8 ※	
支出事務	歳出予算の執行を行っているか	不適切な金額での支出、支出相手方の誤り、支払遅延など支出が適正に行われないリスク	2/12 ※	○

財産管理	土地若しくは建物又は公の施設を所管しているか	土地、建物、施設が安全に使用できないリスク 保有コストに見合う効果がないリスク 有効活用されないリスク	4 / 4	
情報管理	個人情報を取扱っているか	個人情報の漏えいや目的外使用、データの改ざん、滅失等のリスク	4 / 4	
組織・人員	多くの時間外勤務を行っているか	時間外勤務により、職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク 業務量に対し職員数が不足することにより、業務が停滞するリスク	4 / 4	○

※：出先機関であることによる加算あり (評点/リスク最大時評点)

## (2) 出先機関のリスク

- ◆保育業務のかたわら書類作成、書類の確認作業等の事務仕事を行う必要があり、さらに、出先機関であることから、事務上の不備が生じやすいのではないか。保育幼稚園課のチェックは行き届いているか。

### リスク発現の可能性 (○予防策あり、△可能性あり、×発現)

- × 支出負担行為兼支出命令書等財務関係書類は保育幼稚園課の決裁を受けており、チェックはされている。修正等で保育園等と保育幼稚園課との間のやりとりに時間がかかることはあり、今回監査対象園において支払遅延が見受けられた。

## 意見

### 【保育園・幼稚園・こども園共通事項】

消耗品等の購入における支出事務において、支払遅延が生じることのないよう、起案時に会計管理課が作成する「会計事務の手引き」等を再確認し、適正な支出事務について徹底すること。

## (3) 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク

- ◆ワーク・ライフ・バランスを推進するため、業務の効率化や休暇取得の促進、時間外勤務の縮減等の職員の働き方の改善がなされているか。

### リスク発現の可能性 (○予防策あり、△可能性あり、×発現)

- × 今回監査対象園において、年間360時間を超える時間外勤務(\*)を行っている職員が3人見受けられた。その主な要因は、コロナ陽性者の発生に伴う記録・連絡等の事務量の増加によるものである。

\* 「四日市市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則」において、1年の時間外勤務の上限は、原則として360時間以内と規定されている。

## 意見

### 【笹川西保育園・橋北こども園】

時間外勤務が年間360時間を超える職員が見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、AI技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に取り組むこと。

## (4) 施設の補修がすみやかに行われないリスク

- ◆遊具、フェンス等の設備が破損したり錆びたりして安全性に欠けた状態が続くことはないか。

### リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

× 一部の遊具やフェンス等で色の褪せた状態もみられるものの、職員が設備を適宜チェックして、園で執行可能な金額で実施できる修繕はすみやかに行うよう努めており、保育幼稚園課の所管となる修繕については補修の要望をしている。危険な状態となっている遊具などは、補修までの間ロープで使用禁止とするなど、誤って使用することのないようにしている。

しかし、監査対象園において、不適切な部分のある原課契約工事の施工等が見受けられた。

## 指摘

### 【内部幼稚園】

空調機用電源の配線用の配管が接地しており、保護者や職員等の除草作業による破損や、園児が破損箇所接触した場合による事故も考えられ、安全上、適切とは言えない施工である。適切な配管・配線となるよう対応を行うこと。

(平成30年度施工「内部幼稚園 引込計器盤取替修繕および電源配線工事」、令和3年度施工「内部幼稚園 空調機用電源配線工事」)

## 意見

### 【内部保育園】

ア 園敷地西側のフェンスの高さが、人の腰高までしかない状況である。児童の安全のため、乗り越えられない高さのフェンスの設置について、引き続き保育幼稚園課に要望を行うこと。

イ 園舎テラスの天井の塗装が剥落している箇所が見受けられる。園児の安全のためにも塗りなおし等、補修を行うこと。

**【笹川西保育園】**

ウ 園敷地南側の隣地は園より高位置の斜面となっており、フェンスは設置されているものの不審者の侵入が懸念される。園児の安全のため、監視カメラの増設等、保育幼稚園課に対策を協議すること。

エ 園東側境界の壁面が剥落している。園児、職員のみならず一般市民にとっても危険であるため、保育幼稚園課に補修を要望すること。

**【内部幼稚園】**

オ 園敷地の南西側に向けた監視カメラの設置がなく、防犯上の死角となっている。児童の安全のため、保育幼稚園課に設置を要望すること。

**【橋北こども園】**

カ LED化されていない蛍光灯がみられるが、電気料金が高い上に、国は、2030年までにすべての照明のLED化を目標としている。期限が迫ると品不足になる可能性も考慮し、計画的にLEDへの置き換えを完了させること。

**(5) 多様化する課題に対する保護者支援が不十分となるリスク**

- ◆就学前の不安感、子育て全般についての不安感を抱く保護者は多くおり、ひとり親家庭で一人で悩みを抱えている保護者もいる。また、外国にルーツを持つ子ども、保護者は言葉の面で不安があったり、特別支援児の保護者はいっそう大きな不安を抱えていたりする。課題の多様化の中で、そういった保護者への対応が不十分となっていないか。

**リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）**

- 多様な課題に対する保護者支援には、保護者と園職員との日常的な関係性が欠かせないため、園の職員が声をかけたり、園児の園生活での様子を保護者に伝えたりしている。その中で、仕事や家庭のさまざまな悩みについての保護者との対話から、子どもの成長、発達についての相談につながっており、内容により、特別支援の必要性を感じるケースについてはこども発達支援課やあけぼの学園など、ひとり親家庭のケースについてはこども家庭課をはじめ関係機関と連携して保護者支援を行っている。

**(6) 経験年数の少ない職員が不安を抱え込むリスク**

- ◆園の職員は、園児はもとより、保護者との信頼関係も構築し、悩みを持つ保護者のフォローを行うことも必要である。特に新規採用職員等の経験年数の少ない職員において、業務上の多くの問題を抱えることで、心理的な負担から心身に影響を及ぼし、ひいては離職につながったりするようなことはないか。

**リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）**

- 経験年数の長い職員が、経験年数の短い職員に対し積極的に声をかけるよう対応している。また、必要な研修の受講を促したり、園長経験のある保育幼稚園課指導係職員による園訪問により、園の職員には話しづらいことも相談できる体制の整備を図ったりしている。

## 【保育園・こども園共通事項】

### (7) 複雑な雇用形態の中での情報共有阻害のリスク

- ◆ 保育園の職員には、正職員も含めさまざまな雇用形態があるので、勤務時間が異なる職員の間での意思疎通、情報共有が難しくなることによって、職員間の連携に支障をきたし、職務の達成度が低下するようなことはないか。

#### リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

- 園児の情報は連絡ノートを作成して各クラスの職員間で共有し、また、園業務の伝達事項はホワイトボードや共通ノートの活用により全職員が共有しており、大きな支障はきたしていない。

## 2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果 意見

### 【保育園・幼稚園・こども園共通事項】

#### ① 内部事務管理について【合規性の視点】

内部事務の基本的な部分で、いくつかの事務処理誤りが見受けられた。これは、職員の業務に関する知識不足や単純なミスに加えて所属内でのチェック・牽制体制が十分に機能していないことに要因がある。所属長は定められたルールに基づいた事務執行の意識を職員に定着させるとともに、所属において発生しやすいミス等によるリスクを認識させ、日常的に確認すべき事項を定型化して確認するなど、内部チェック体制を整備して、内部事務管理の徹底を図ること。

#### ② コロナ禍における保育について【住民福祉の向上の視点】

新型コロナウイルス感染症がまん延する中であっても、どうしても子どもを保育園に預けざるをえない保護者が多くいる。感染症対策は講じられてはいるものの、職員と園児は密になる機会が多い上に、年齢の低い園児はマスクをつけるということもできず、感染拡大するリスクは高い。さらに、子どもの家庭内感染のケースも多くみられる。安全を第一に考えながら、可能な限り工夫して業務を行うこと。

#### ③ 職員の資質向上について【有効性の視点】

各園は、職員の研修参加を促し、学びの機会がもてるよう努めているが、園長は、職員が保育に馴れることなく資質向上に努めているかをチェックすること。

#### ④ 園における子どもの受け渡しについて【住民福祉の向上の視点】

一日のうちで担当職員が交代する場合であっても、保護者の迎えの際にその日は誰が迎えに来るかという情報について共有を徹底し、ミスのないよう細心の注意を払うこと。

⑤ 現金の取扱いについて【合規性の視点・効率性の視点】

- ア 収納金の取扱いや管理について、厳重な管理と事故防止を徹底すること。
- イ 行事の写真の販売の際、園が保護者から現金を預かり、業者に渡しているが、現金を取り扱うこと自体が職員の負担にもなり、事故のリスクも発生することから、現金を直接扱わない方法に変えることを検討すること。

⑥ すぐメールの配信について【効率性の視点・住民福祉の向上の視点】

園長をはじめ数人の職員に、すぐメールの配信権限が付与されているとのことであるが、園のパソコンでしか配信操作ができないこととなっている。大雨警報発令時などいかなる時でも、職員が少なくとも一人は園に行って配信しなければならないというのはいかなるものか。園長だけは自宅でも配信可能にするなど、全庁的な事例も参考にするなどしてやり方を検討すること。

⑦ 災害発生時への備えについて【住民福祉向上の視点】

【内部保育園】

- ア コピー機等の事務機器、棚、靴箱などについて、耐震対策がとられていないものが見受けられるため、すべて点検し、すみやかに対応すること。

【川島幼稚園】

- イ 倉庫内のキャビネットについて、耐震対策がとられていないものが見受けられるため、すべて点検し、すみやかに対応すること。職員室のキャビネットについては、鎖で留められてはいるものの、容易に外れるような状況になっているので、補強すること。

【橋北こども園】

- ウ 職員室の冷蔵庫などについて、耐震対策がとられていないものが見受けられるため、すべて点検し、すみやかに対応すること。

【川島幼稚園】

⑧ 休園に伴う保護者説明について【住民福祉の向上の視点】

川島幼稚園は令和5年度末をもって休園が決定している。園は、保護者や地域に対し周知をしており、未就園児の保護者に対しては、あそび会の場で、今後新たにこども園となるかわしまこども園の案内などを行っている。子どもを預ける保護者にとっては、園の形態の変化は影響が大きいことから、今後も丁寧な説明を行っていくこと。

#### 【内部幼稚園】

##### ⑨ ホームページによる情報発信について【有効性の視点】

保育園・幼稚園・こども園の中でホームページがあるのは幼稚園・こども園だけであるが、内部幼稚園は、ホームページの内容を頻繁に更新を行い、情報発信に力を入れており、園児や保護者向けには充実した内容となっている。しかし、幼稚園のホームページ自体の仕様が古く、スマートフォン対応や検索機能も十分でないなど、利用しにくく、園児募集やあそび会の周知には有効に機能していないと考えられる。保育幼稚園課にホームページの性能向上を要望すること。

## 評 価

#### 【内部幼稚園】

##### 保護者・地域との交流について

内部幼稚園では、PTAが中心となり年3回広報誌を作成したり、地域の有志団体と共に栽培活動を行ったり、保護者や地域の人と一緒に園児の保育に取り組むという公立幼稚園の長所が発揮されている。保育幼稚園課を通じて、他の幼稚園ともこの取り組みについて情報共有を図ること。